

オンライン授業のためのTips

03_オンライン授業に必要な環境

オンライン授業の実施環境の準備

甲南大学教育学習支援センター

はじめに

- この資料では、オンライン授業に関する事柄を網羅的にまとめています。
 - 段階的に作成します
 - 00～：オンライン授業に係る総論
 - 10～：オンライン授業教材作成について
 - 20～：MyKONANの授業支援機能について
 - 30～：Web会議システム「Zoom」の利用について
 - 当初作成したTipsのVol.1から3までの内容は、上記内容を網羅的に紹介しておりましたが、授業の進行とともに、個別の技術的なご質問等も増えてきたため、個々の機能別に再編しました。
- 簡易的ではありますが、その際に必要なツールなどの活用例を、実際に甲南大学で利用可能なものに絞り、掲載しています
 - 掲載の範囲であれば、完全とは言えないまでも、大学内で何らかのサポートができます
- もちろん、インターネット上には様々な情報が出ており、有益なものが沢山あります。それを独自に活用なさを制限するものではありません

03_オンライン授業に必要な環境の概要

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

- オンライン授業の実施イメージ
 - オンライン授業に必要なもの
 - オンライン授業での理解度確認
 - 授業の例
- オンライン授業の設計の詳細
 - オンライン授業の方法と流れ
- オンライン授業向け教材の作り方
 - オンライン授業に必要な環境
 - PowerPoint資料準備の注意点
 - 著作権について
 - PowerPoint資料と授業担当者の音声（+映像）を同時に収録
 - PowerPointのビデオ作成機能の活用
 - Webテレビ会議システム「Zoom」の録画機能の活用
 - その他の教材作成方法
 - 音声だけならICレコーダの活用も・・・
 - 資料とワークシートを用いる方法
- MyKONANの[コース管理]機能の活用
 - オンライン授業に関する準備が出来たら、授業の“流れ”を具現化する（⇒詳しくはVol.3で）
- 「リアルタイム遠隔授業」方式の実施方法
 - 準備、ツール、留意点、
 - Webテレビ会議システム「Zoom」の使い方

以下、掲載予定

- Vol.3 教材配信の実際（MyKONANの活用やMicrosoft Streamの使い方）
- Vol.4 グループワークのオンライン化（リアルタイム遠隔授業の応用やOffice365の協働作業）

オンライン授業向け 教材の作り方

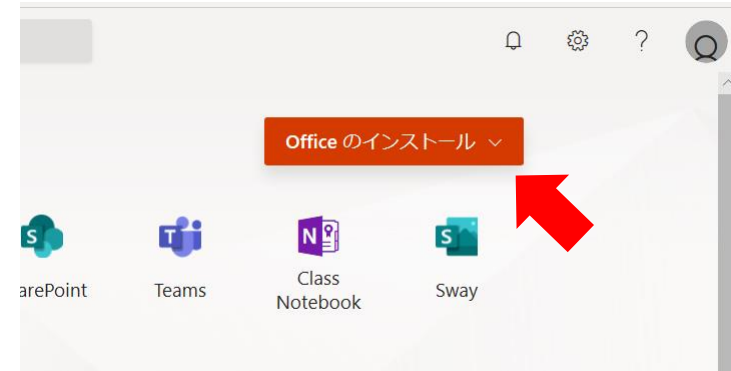


オンライン授業に必要な環境①

- 「インターネット授業」で動画教材を作成する場合や「リアルタイム遠隔授業」を実施する場合
 - 必要な機材
 - PowerPointがインストールされたPCやタブレット
 - 話者の自撮り画像を挿入する場合は、次ページ記載内容も確認
 - マイク+Webカメラ
 - ⇒ほとんどのタブレットやここ数年で発売されているノートPCの多くには、これらが内蔵されている場合が多く、それでOK
 - 内蔵されていない場合は、マイクとカメラが一体になったものが、ネット通販で、数千円から購入できる
 - 価格と性能はほぼ比例、カメラの性能を示すキーワードとして「HD（画質）720p」「FullHD（画質）1080p」「4K」といったものがあり、この記載順に画質が良くなる。
 - 通常のテレビ会議や講義収録用のカメラと考えると「4K」画質は不要。データ容量も大きくなるので、配信には不向きでしかも価格も高い
 - ⇒ 「HD（画質）720p」で必要十分（通信容量を少なくする点でも有利）
 - パワーポイントに書き込み等をしたい場合は、マウスがあったほうが便利
 - タッチパネル式のディスプレイを持っているときは、“スタイラスペン”があると便利
 - 環境
 - インターネットにつながること
 - 比較的静かな場所（研究室や教室など）

オンライン授業に必要な環境②

- 話者の自撮り画像が入ったPowerPoint動画
 - Office365からインストールした特別なPowerPointが必要
 - Office365ログオン後のトップページからインストールが可能
- 好ましいファイル保存形式
 - 「.mp4」= MP4形式 一択
 - オンラインサービスに親和性が最も高い
 - ビデオカメラで録画した場合は変換が必要になることも
- 動画教材以外であれば
 - 音声録音をするならば静かな環境は必要
 - それ以外は、先生方の通常の授業準備と何も変わらない（インターネットとパソコンがあれば十分）
- 「リアルタイム遠隔授業」での注意事項
 - 文字通り、授業時間がそのまま流れるため、**事前のリハーサルなど、機材・ソフトウェアの操作に一定程度精通しておく必要がある**
 - これまで通りの授業を教室で行い、それをそのまま配信することも不可能ではない





PowerPoint資料準備の注意点

- 普段の授業でPowerPointからの転用に注意
 - **著作権上問題（心配）のある画像等がある場合は削除**
 - **画像や同じ意図の情報が掲載されているWebページのURLを掲載し、収録時にも学生それぞれが自身の端末で閲覧するように促すコメントを追加する**
- 今回の対応用に新たにPowerPointを作成する場合
 - Word等のレジユメがあらかじめある場合は、それをベースにPowerPointに置き換えるだけでもそれなりのものできる
 - 著作権の問題にも注意を払う（上記と同じ）
 - **特に、授業中にPCでホームページの情報を投影したり、新聞や書籍を書画カメラで投影していた場合、それらをキャプチャやスキャンして利用することは絶対にダメ**
 - 該当する場合は、その画像や同じ意図の情報が掲載されているWebページのURLを掲載し、収録時にも学生それぞれが自身の端末で閲覧するように促すコメントを追加する
- 見やすさへの配慮：背景色が白い場合はそれほど問題にならないが、濃い背景色を用いる場合、内容を強調するために色を変える場合、赤系統や緑系統を避けた方が見やすい（カラーユニバーサルデザインの考え方）
 - セオリーや対策はいくつも提案されているが、一番手軽なのは、アンダーラインを併用するなども有効
- 授業の流れや、収録する内容・時間に合わせてPowerPointファイルは分割しておくとうい
- PowerPointのデータが完成したら、プレゼンテーションを録画する（本書後半ページに詳細に記載）

PowerPoint資料と授業担当者の音声 (+映像) を同時に収録

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

• 主な収録方法は以下の2つ

- ① PCとPowerPointを使って講義収録する方法
- ② Webテレビ会議システム「Zoom」を使って講義収録する方法

– 注意点

- 収録したデータの保管やその後の処理を考えるとPCを使って収録するほうが格段に便利
- パワーポイントに書き込み等をしたい場合は、タブレットのほうが書きやすい
 - タブレットの場合、“スタイラスペン”があると、より便利
 - 真っ白なPowerPointページを挟んでおくと、ホワイトボードのように使える
 - » 深緑の背景ページにすると黒板のようになる（雰囲気の問題、意外と大切・・・）
 - タッチパネル式ディスプレイ搭載PCがあれば同じこと
 - » PCはタッチパネル式ディスプレイ搭載ではないがタブレットも保有している、という場合、②の方法で解決する方法があるが、慣れが必要

各種ご相談等は
教育学習支援センターまで
お寄せください

Mail:lucks@adm.konan-u.ac.jp

[Tel:078-386-4312](tel:078-386-4312) (内線 : 5851)